



中部電力

特許5件
出願中



配電線路の鳥害防止対策

鳥による停電や 糞害を未然に 防止します。



背景・目的

□ 変圧器や開閉器、アレスタの充電部へのカラスの営巣材接触による停電が発生しており、停電を防止するための巡視に多大な労力がかかっていました。そのため、停電防止および巡視回数の削減効果が期待できる対策品を開発しました。

また、配電線に鳥がとまることによる直下の糞害を防止するための対策品を開発しました。



<営巣対策品>

- 営巣が行われても停電が発生しないように、必要な絶縁距離を確保できる構造を採用
- 磁器の雨洗効果を損なわない構造を採用
- 耐トラッキング性能に優れ、難燃性を有した材料を採用

<糞害対策>

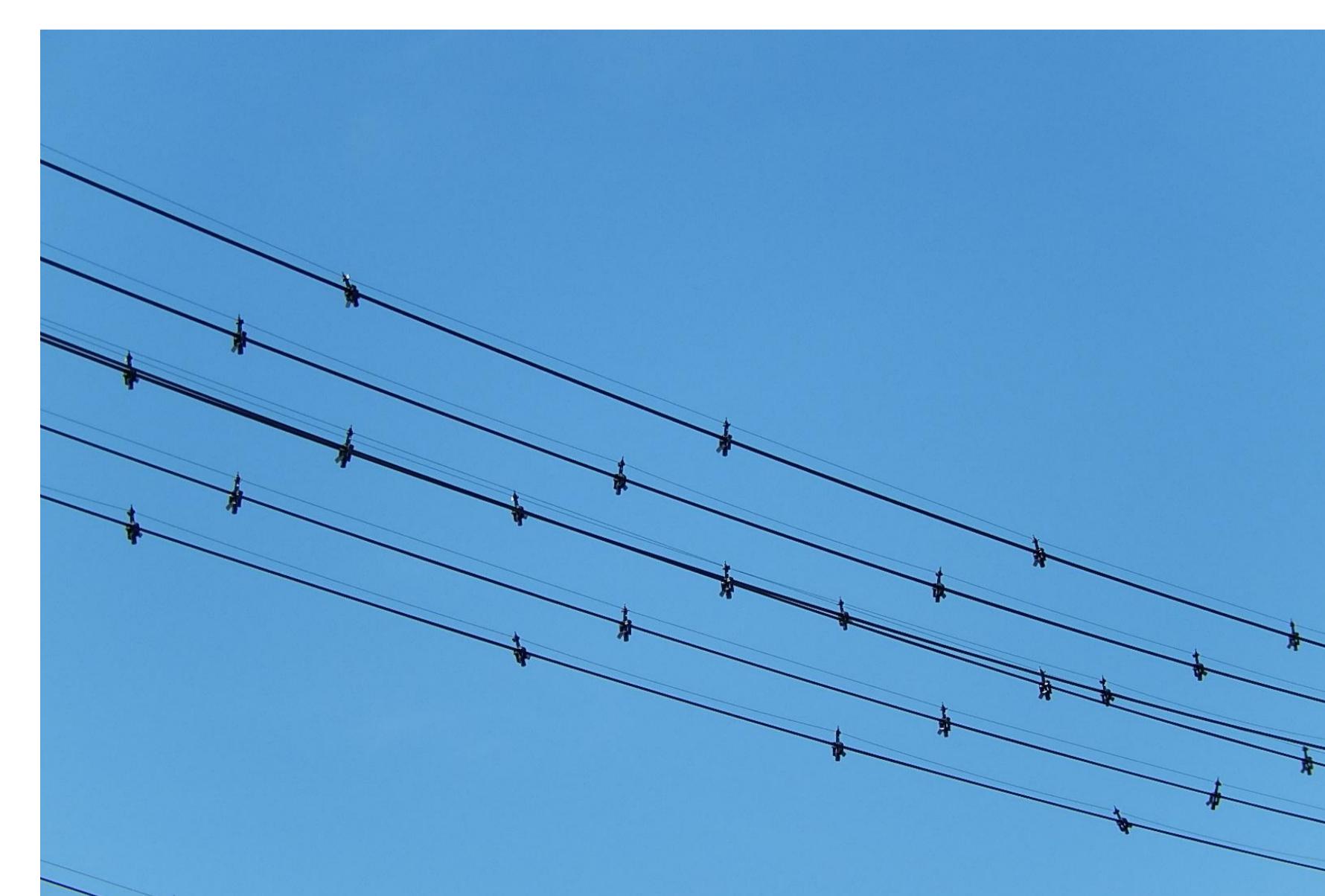
- 鳥の種類や環境に応じ、最適な鳥害防止器を選択できるようラインナップを用意

特長

<営巣対策品>

- 変圧器・アレスタ・開閉器の充電部付近へのカラスの営巣材接触による停電を防ぐため取付
- 電線直下の糞害を防止するため取付

用途



開発者の
ひとこと

糞害対策品は、当初針型のみを採用していましたが、強風区域では電線への風圧荷重が大きくなるため、受風面積が小さいラインタイプを新たに採用しました。